

Muli bwanji?

2018. 1. 30

今回はザンビアのファッション事情についてお伝えします。
洋服を着ている人がほとんどですが、アフリカ布で洋服を作ったり、腰に巻いたりする人も多くみられます。
街中とてもカラフルで、おしゃれな人が多いです。



ザンビアの女性はとてもおしゃれ好きに見えます。この写真は、種まきの講習会に参加したときに撮影しました。現地の方を対象にした講習会でしたが、たくさんの方が参加し、熱心に説明を聞いていました。この講習会は現地語（ニャンジャ語）で行われました。言葉を理解できない私に隣の女性が、私に身振り手振りで教えてくれたことが印象に残っています。言葉が話せなくても、ともに学び、喜び、笑いあうことができるのだと学んだ日でもありました。

ザンビアでは大勢の人を集めると、どういうわけか、女性と男性に大まかに分かれて集まります。写真撮影を嫌がる方も多いのですが、「後ろ姿ならいいよ」と承諾を得て撮影しています。

写真に写る女性は農作業をするときの服装をしています。ザンビアではチテンゲと呼ぶアフリカの布を腰に巻くのが農作業や家事をするときのスタイルです。農繁期が来ると、多くの人が畑で作業をします。女性のチテンゲも手伝い、畑はとてもカラフルに彩られます。

農業隊員として頑張っています！

コミュニティ開発という職種ですが、配属先や地域によってその仕事の内容は違いますが、私は、稲作とキノコ栽培の推進を担当しています。

現在稲作の季節です。米の収穫後、キノコ栽培にチャレンジしようと思っています。

稲作は、現在8件の農家を担当し、ネリカ米という陸稲を栽培しています。今は種まきが終わり、草丈50cmほどに育っています。この活動が、この国の食糧事情を少しでも向上することを願い、活動をしています。



これが、陸稲の畑です。順調に育っています！嬉しいですね！

稲作の専門家、坪井達史氏と！



栽培方法を講習会で学んでいます。



農家へ行くと時々もらえる“おすぞわけ”です。今回はバナナでした。30kgはあろうかと思われるほど、とても重かったです。